

(実務必携 P. 203～205)

第 1 号 単価表

小口径（布設替詳細設計）

1 業務 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
設計協議		業務	1			第 2 号単価表参照
現地調査	小口径（布設替詳細設計）	式	1			第 3 号単価表参照
設計計画	小口径（布設替詳細設計）	式	1			第 4 号単価表参照
各種計算	小口径（布設替詳細設計）	式	1			第 5 号単価表参照
図面作成	小口径（布設替詳細設計）	式	1			第 6 号単価表参照
数量計算	小口径（布設替詳細設計）	式	1			第 7 号単価表参照
審査	小口径（布設替詳細設計）	式	1			第 8 号単価表参照
計	1 業務 当り					

DW501

[設計種別]=小口径（布設替詳細設計），[中間打合せ回数(回)]=1，[土工事]=伴う，[呼び径補正直接入力]=0.91，[呼び径(mm)]=150，[床付深さ]=一定(2.0m未満)  
[管路延長(m)]=320，[設計条件指数計直接入力]=7，[地域環境]=主として小市街地又は住居地区，[道路幅員]=標準，[埋設物]=なし，[土質]=特に検討を要しない  
[計画工事案件数]=1，[仮設配管]=計上する，[仮設配管補正係数直接入力]=1.5，[布設替路線全延長(m)]=320，[仮設配管を必要とする布設替路線延長(1 ≤ L)(m)]=320  
[設計計画]=計上する，[各種計算]=計上する，[公害対策機種]='基準書指定'，[低騒音機種]=基準書指定

(実務必携 P. 203)

第 2 号 単価表

設計協議

1 業務 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
第 1 回打合せ		業務	1			第 9 号単価表参照
中間打合せ	中間打合せ回数1回	業務	1			第 10 号単価表参照
最終打合せ		業務	1			第 11 号単価表参照
計	1 業務 当り					

DW502

[中間打合せ回数(回)]=1, [公害対策機種]=' 基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

(実務必携 P. 203～205)

第 3 号 単価表

現地調査

小口径（布設替詳細設計）

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人				
技師（Ａ）		人				
技師（Ｂ）		人				
技師（Ｃ）		人				
技術員		人				
計	1 式 当り					

DW506

[設計種別]=小口径（布設替詳細設計），[土工事]=伴う，[呼び径補正直接入力]=0.91，[呼び径(mm)]=150，[管路延長(m)]=320，[設計条件指数計直接入力]=7  
[地域環境]=主として小市街地又は住居地区，[道路幅員]=標準，[埋設物]=なし，[土質]=特に検討を要しない，[計画工事案件数]=1，[仮設配管]=計上する  
[仮設配管補正係数直接入力]=1.5，[布設替路線全延長(m)]=320，[仮設配管を必要とする布設替路線延長(1 ≤ L)(m)]=320，[公害対策機種]='基準書指定'  
[低騒音機種]=基準書指定

布設替詳細設計（小口径・土工事・仮設配管）

$K = K1 * K2 * K3 * K4 * K5$   
 $= 0.91 * 0.7 * 0.85 * 1 * 1.5 = 0.812$   
K1: 呼び径による補正 = 0.91  
K2: 延長による補正 = 0.7  
K3: 設計条件による補正 = 0.85  
K4: 工事案件数による補正 = 1  
K5: 仮設配管による補正 = 1.5

工事案件数による補正

$K4 = 1.0 + 0.1 * (N - 1)$   
 $= 1.0 + 0.1 * (1 - 1) = 1$   
N: 計画工事案件数 = 1

(実務必携 P. 203～205)

## 第 4 号 単価表

### 設計計画

小口径（布設替詳細設計）

### 1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人				
技師（Ａ）		人				
技師（Ｂ）		人				
技師（Ｃ）		人				
計	1 式 当り					

DW507

[設計種別]=小口径（布設替詳細設計），[土工事]=伴う，[呼び径補正直接入力]=0.91，[呼び径(mm)]=150，[管路延長(m)]=320，[設計条件指数計直接入力]=7  
[地域環境]=主として小市街地又は住居地区，[道路幅員]=標準，[埋設物]=なし，[土質]=特に検討を要しない，[計画工事案件数]=1，[仮設配管]=計上する  
[仮設配管補正係数直接入力]=1.5，[布設替路線全延長(m)]=320，[仮設配管を必要とする布設替路線延長(1 ≤ L)(m)]=320，[公害対策機種]='基準書指定'  
[低騒音機種]=基準書指定

布設替詳細設計（小口径・土工事・仮設配管）

$$K=K1*K2*K3*K4*K5$$

$$=0.91*0.7*0.85*1*1.5=0.812$$

$$K1: \text{呼び径による補正} = 0.91$$

$$K2: \text{延長による補正} = 0.7$$

$$K3: \text{設計条件による補正} = 0.85$$

$$K4: \text{工事案件数による補正} = 1$$

$$K5: \text{仮設配管による補正} = 1.5$$

工事案件数による補正

$$K4=1.0+0.1*(N-1)$$

$$=1.0+0.1*(1-1)=1$$

$$N: \text{計画工事案件数} = 1$$

(実務必携 P. 203～205)

第 5 号 単価表

各種計算

小口径（布設替詳細設計）

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人				
技師（Ａ）		人				
技師（Ｂ）		人				
技師（Ｃ）		人				
技術員		人				
計	1 式 当り					

DW508

[設計種別]=小口径（布設替詳細設計），[土工事]=伴う，[呼び径補正直接入力]=0.91，[呼び径(mm)]=150，[管路延長(m)]=320，[設計条件指数計直接入力]=7  
[地域環境]=主として小市街地又は住居地区，[道路幅員]=標準，[埋設物]=なし，[土質]=特に検討を要しない，[計画工事案件数]=1，[仮設配管]=計上する  
[仮設配管補正係数直接入力]=1.5，[布設替路線全延長(m)]=320，[仮設配管を必要とする布設替路線延長(1 ≤ L)(m)]=320，[公害対策機種]='基準書指定'  
[低騒音機種]=基準書指定

布設替詳細設計（小口径・土工事・仮設配管）

$K = K1 * K2 * K3 * K4 * K5$   
 $= 0.91 * 0.7 * 0.85 * 1 * 1.5 = 0.812$   
K1: 呼び径による補正 = 0.91  
K2: 延長による補正 = 0.7  
K3: 設計条件による補正 = 0.85  
K4: 工事案件数による補正 = 1  
K5: 仮設配管による補正 = 1.5

工事案件数による補正

$K4 = 1.0 + 0.1 * (N - 1)$   
 $= 1.0 + 0.1 * (1 - 1) = 1$   
N: 計画工事案件数 = 1

(実務必携 P. 203～205)

第 6 号 単価表

図面作成

小口径（布設替詳細設計）

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人				
技師（Ａ）		人				
技師（Ｂ）		人				
技師（Ｃ）		人				
技術員		人				
計	1 式 当り					

DW509

[設計種別]=小口径（布設替詳細設計），[土工事]=伴う，[呼び径補正直接入力]=0.91，[呼び径(mm)]=150，[管路延長(m)]=320，[設計条件指数計直接入力]=7  
[地域環境]=主として小市街地又は住居地区，[道路幅員]=標準，[埋設物]=なし，[土質]=特に検討を要しない，[計画工事案件数]=1，[仮設配管]=計上する  
[仮設配管補正係数直接入力]=1.5，[布設替路線全延長(m)]=320，[仮設配管を必要とする布設替路線延長(1 ≤ L)(m)]=320，[公害対策機種]='基準書指定'  
[低騒音機種]=基準書指定

布設替詳細設計（小口径・土工事・仮設配管）

$K = K1 * K2 * K3 * K4 * K5$   
 $= 0.91 * 0.7 * 0.85 * 1 * 1.5 = 0.812$   
K1: 呼び径による補正 = 0.91  
K2: 延長による補正 = 0.7  
K3: 設計条件による補正 = 0.85  
K4: 工事案件数による補正 = 1  
K5: 仮設配管による補正 = 1.5

工事案件数による補正

$K4 = 1.0 + 0.1 * (N - 1)$   
 $= 1.0 + 0.1 * (1 - 1) = 1$   
N: 計画工事案件数 = 1

(実務必携 P. 203～205)

## 第 7 号 単価表

## 数量計算

小口径（布設替詳細設計）

## 1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人				
技師（A）		人				
技師（B）		人				
技師（C）		人				
技術員		人				
計	1 式 当り					

DW510

[設計種別]=小口径（布設替詳細設計），[土工事]=伴う，[呼び径補正直接入力]=0.91，[呼び径(mm)]=150，[計画工事案件数]=1，[管路延長(m)]=320  
[設計条件指数計直接入力]=7，[地域環境]=主として小市街地又は住居地区，[道路幅員]=標準，[埋設物]=なし，[土質]=特に検討を要しない，[仮設配管]=計上する  
[仮設配管補正係数直接入力]=1.5，[布設替路線全延長(m)]=320，[仮設配管を必要とする布設替路線延長(1 ≤ L)(m)]=320，[公害対策機種]='基準書指定'  
[低騒音機種]=基準書指定

布設替詳細設計（小口径・土工事・仮設配管）

$K = K1 * K2 * K3 * K4 * K5$   
 $= 0.91 * 0.7 * 0.85 * 1 * 1.5 = 0.812$   
K1: 呼び径による補正 = 0.91  
K2: 延長による補正 = 0.7  
K3: 設計条件による補正 = 0.85  
K4: 工事案件数による補正 = 1  
K5: 仮設配管による補正 = 1.5

工事案件数による補正

$K4 = 1.0 + 0.1 * (N - 1)$   
 $= 1.0 + 0.1 * (1 - 1) = 1$   
N: 計画工事案件数 = 1

(実務必携 P. 203～205)

## 第 8 号 単価表

## 審査

小口径（布設替詳細設計）

## 1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人				
技師（Ａ）		人				
技師（Ｂ）		人				
技師（Ｃ）		人				
計	1 式 当り					

DW511

[設計種別]=小口径（布設替詳細設計），[土工事]=伴う，[呼び径補正直接入力]=0.91，[呼び径(mm)]=150，[管路延長(m)]=320，[設計条件指数計直接入力]=7  
[地域環境]=主として小市街地又は住居地区，[道路幅員]=標準，[埋設物]=なし，[土質]=特に検討を要しない，[計画工事案件数]=1，[仮設配管]=計上する  
[仮設配管補正係数直接入力]=1.5，[布設替路線全延長(m)]=320，[仮設配管を必要とする布設替路線延長(1 ≤ L)(m)]=320，[公害対策機種]='基準書指定'  
[低騒音機種]=基準書指定

布設替詳細設計（小口径・土工事・仮設配管）

$$K=K1*K2*K3*K4*K5$$

$$=0.91*0.7*0.85*1*1.5=0.812$$

$$K1: \text{呼び径による補正} = 0.91$$

$$K2: \text{延長による補正} = 0.7$$

$$K3: \text{設計条件による補正} = 0.85$$

$$K4: \text{工事案件数による補正} = 1$$

$$K5: \text{仮設配管による補正} = 1.5$$

工事案件数による補正

$$K4=1.0+0.1*(N-1)$$

$$=1.0+0.1*(1-1)=1$$

$$N: \text{計画工事案件数} = 1$$



(実務必携 P. 203)

第 9 号 単価表

第 1 回打合せ

1 業務 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人				
技師 (A)		人				
計	1 業務 当り					

DW503

[公害対策機種]=' 基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

(実務必携 P. 203)

第 10 号 単価表

中間打合せ

中間打合せ回数1回

1 業務 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
技師（A）		人				
技師（B）		人				
計	1 業務 当り					

DW504

[中間打合せ回数(回)]=1, [公害対策機種]=' 基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定

(実務必携 P. 203)

第 11 号 単価表

最終打合せ

1 業務 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
主任技師		人				
技師 (A)		人				
計	1 業務 当り					

DW505

[公害対策機種]=' 基準書指定', [低騒音機種]=基準書指定